

人の注意は感謝して

悪人がはびこり
 世の中が乱れるのは
 善人が黙っているからだ
 世の中を少しでもよくしようと思うなら
 気付いた人が
 その場で遠慮なく注意するがよい
 注意されたからといって
 腹をたてたりふくれたり
 うらんだりしないことだ
 叱られて賢くなり
 笑われて気がつき
 たたかれてこそものになる
 だから人の注意は
 素直に感謝して受けるがよい
 それでいてみんなほがらか
 そんな仲間でありたい



＜ 遠藤 俊夫 ＞

今、「自分のことを真剣になって厳しく注意してくれる人はいますか？」という質問に対して、皆さんはどう答えますか。即座に「はい！います」と自信を持って答えられる人はやはり幸せだと思います。

私の経験では、年齢が増すにつれて、そういう貴重な人は減ってくるように思います。人間の心には、必ずと言っていいほどスキがあります。だから、自分のことをよく見えて、注意してくれる人はとても大切な存在であり、そうした人は失いたくないものです。

しかし、人からの注意は誰もがあまり気持ちよく聞けるものではありません。特に、腹が立って、気持ちが乱れているときなどは反発したくなってしまうのが普通です。逆に、

注意する側にとっては、せっかく注意したのに反発されたり、効き目がなかったりすると、次の機会には注意する気がなくなってしまうのも、また自然な感情ではないでしょうか。

自分のことは、なかなか自分ではわかりません。冷静な他人の目を通すことによってよく分かるのです。だから、人の注意に耳を傾け、まずは気をつけてみるのが何より大切だと思います。

